

令和5年8月2日

太田市議会議長 矢部伸幸 様

創政クラブ 代表 大川陽一

会派行政視察報告書

- 1 期 日 令和5年7月4日（火）から7月6日（木）
- 2 視察先 北海道帯広市
北海道釧路市
北海道白糠町
- 3 参加者 大川陽一・高木きよし・松浦武志・長正祐
松川翼 ・高野博善 ・川岸靖隆・青木雅浩
- 4 視察内容 ①帯広市 「フードバレーとかち」について
②釧路市 「釧路市ビジネスサポートセンターk-Biz」について
③白糠町 「ふるさと納税」について

① 北海道帯広市行政視察報告

帯広市概要 面積 619.34 km² 人口 90,195 世帯 163,181 人(R5.5)
市制施行 1933 年 4 月 1 日
議員定数 29 名
政務活動費 1 カ月 30,000 円 (年 360,000 円)
一般会計予算 令和 5 年 861 億 7,200 万円

帯広市 「フードバレーとかち」について

「フードバレーとかち」は、「食と農林漁業」を柱とした地域経済産業政策の考え方を総称したものです。

帯広市では、「食と農林漁業」を柱とした地域産業政策の考え方を「フードバレーとかち」と総称し、まちづくりの旗印として、十勝全域とスクラムを組んで進め、まちづくり全体に展開しながら国内外へ地域の魅力を発信しています。

帯広・十勝は、わが国有数の食料生産基地として大規模な農業が営まれています。そして農業に関連する大学、試験研究機関、企業が多く集積し、先進的な研究が進められており、農畜産物や加工品は、安全で良質な十勝ブランドとして、消費者に広く受け入れられています。

十勝全体で 10,831 平方キロメートル（岐阜県に相当）があり、約 24 パーセントに当たる 2,600 平方キロメートルが耕地に利用されています。（全国の耕地面積の約 5%）また、年間日照時間が 2,000 時間を超え、国内有数です。

日本の農家 1 戸当たり平均経営面積は 1.9 ヘクタール、北海道では 20.1 ヘクタールです。これに対し、十勝は 38.7 ヘクタールでヨーロッパの農業国並み（ドイツ 45.7 ヘクタール、フランス 55.8 ヘクタール）の平均経営面積です。

十勝で生産する食料をカロリーに換算すると、約 400 万人が 1 年間に必要とするカロリー分に匹敵します。

そして「フードバレーとかち」の主な成果として、食料自給率が平成 25 年の 1,100%から令和 3 年に 1,339%に増加したこと、十勝の観光入込客数が平成 23 年の約 914 万人から令和元年に約 1,026 万人に増加したこと等があります。

本市は大手自動車メーカーと、それに連なる中小企業が数多く集積し、それらを中心に工業都市として発展を遂げてきましたことから、ものづくりのまちとしての「太田ブランド」を広く国内外に発信し、さらなる地域経済の活性化につなげることができればよいと考えます。



(帯広市)



(帯広市)

② 北海道釧路市行政視察報告

釧路市概要 面積 1,363.29 km² 人口 92,769 世帯 159,073 人(R5.4)
市制施行 2005 年 10 月 11 日
議員定数 28 名
政務活動費 1 カ月 40,000 円 (年 480,000 円)
一般会計予算 令和 5 年 982 億円

釧路市 「釧路市ビジネスサポートセンターk-Biz」について

釧路市では、地域経済のプラス成長と雇用の創出を図るため、企業の「稼ぐ力」の強化に取り組んでいます。この一環として、2010（平成 22）年度から継続的に連携を深めてきた「富士市産業支援センターf-Biz」をモデルに「釧路市ビジネスサポートセンターk-Biz」を設立、運営することとしました。

k-Biz 立ち上げにあたり、地域の中小企業支援機関が一体となった運営が必要不可欠であるとの認識の下、2017（平成 29）年 8 月に釧路市、経済団体、金融機関の 10 団体で構成する釧路市ビジネスサポート協議会を設立、センター長公募を経て、翌 2018（平成 30）年 8 月 21 日に、北海道・東北エリアで初となる、釧路市ビジネスサポートセンターk-Biz をオープンしています。

釧路市ビジネスサポートセンター（k-Biz）では、釧路市内・周辺地域で事業を展開する事業者が抱える、様々な悩みの解決や、チャレンジをサポートしており、「売上が伸び悩んでいる」「新しい販路を開拓したい」「新商品・新サービスの開発をしたい」「効率的な情報発信の仕方がわからない」「相談できる相手がいない」など、あらゆる悩みをサポートして、地域経済の活性化に向けた中小企業支援をしている機関です。

本市でも、中小企業が多く集っている地域であるため、このような取り組みは参考にできることが多くあると思いました。本市の企業が更に活性化するように、良い部分は積極的に取り入れていければと考えます。



(釧路市)



(釧路市)

③ 北海道白糠町行政視察報告

白糠町概要 面積 773.13 km² 人口 4,010 世帯 7,230 人(R5.5)
町制施行 1950 年 11 月 1 日
議員定数 12 名
一般会計予算 令和 5 年 174 億 3000 万円

白糠町 「ふるさと納税」について

白糠町は、海の幸も山の幸も豊富な「食と食材のまち」としての強みを活かしています。2020 年度ふるさと納税実績金額において、全国 4 位、全国の町村では 1 位になりました。北海道という一次産業の豊かさがベースにあるわけですが、最初から簡単に成功を収めたわけではなく、当初は伸び悩んだとのこと。

過去 10 年間で順位が急上昇していますが、その秘訣は、寄付者からの評価の声に真摯に耳を傾け、生産者や行政がそれに応えるための創意工夫を重ね続けたことにあると言います。寄付者が注文する Web サイトに書き込まれたコメントを必ずチェックして、自分たちが作ったものがどういう評価を受けているのかを自覚することにより、生産者側の意識改革につながりました。高評価が得られるとモチベーションも高まり、生産や加工のクオリティはさらに高まる。農林水産業の新しい振興もおおいに進んだ。そんな街ぐるみの取り組みが奏功し、好循環をもたらした模様です。

ふるさと納税を通じて白糠町というまちの存在や魅力を広く知らしめ、まちのブランド力を上げていく。それが人口の流出を抑えることや、子育て支援を充実させることにも大きく貢献しているとのことでした。

本市でも、ふるさと納税制度の活用は課題であるため、ふるさと納税で人気のある白糠町での取り組みは参考になることが多くありました。工夫しているところ等を本市のふるさと納税でも有効に取り入れて、活用していけるように取り組んでいければと考えます。



(白糠町)



(白糠町)